



# ウイング



キラキラ人  
探求!

## \*:\*:\*:\*:\* Contents \*:\*:\*:\*:\*

- KASHIMA フォトコンテスト受賞作品紹介
- キラキラ人探究！ 福石 博史さん
- Q&A 市役所イクメン職員育休体験談
- 2022 年から男性の育児休業がパワーアップ

男性の  
育児参画  
特集号  
★★★★



△(左)男女共同参画推進委員会委員長 石津 和宏さん(右)福石 博史さん

## KASHIMA フォトコンテスト 受賞作品紹介

写真を撮ること・撮られることをきっかけに、男性の家事・育児参画への関心を高めることを目的として、フォトコンテストを開催しました。『わたしのとなりの小さな幸せ』をテーマに応募のあった46 作品の中から、見事受賞された作品を掲載します。



**本当だ！ママ、動いてるよ**  
お姉ちゃんになる日が待ち遠しいようです。弟とわかったら、「発表します。名前は、チビ太郎に決まりました。」と。



**夏休みの思い出**  
コロナにより遠出等難しい中、地元鹿嶋で催されたトリックアート展。行事が色々中止になってしまった中での楽しかった思い出。



**妹・まなちゃんにご対面**  
第二子の里帰り出産で普段と違う暮らしの中、ママの入院で離れ離れ。頑張って乗り越え、退院した妹にご対面。緊張しながらも笑顔で迎えてくれたね。



**パパと絵本**  
おうち時間はたくさん絵本を読んで過ごしました。2人でニコニコ絵本を見る姿にほっこり。



**サラダ作りは僕たちに任せて！**  
パパとポテトサラダ作り。大きくなったらママに色々作ってあげたいな。パパとお料理頑張るぞ！



**大好きばあば♥**  
里帰り出産で帰ってきていた孫たちとの楽しい時間ももうすぐ終わり。またなかなか会えない日々を思うとさみしくなるなあとばあば。

み~つけた!

# キラキラ人 探究!

このコーナーでは、男女共同参画を实践され、イキイキと輝いている方の秘訣をご紹介します。

今号では、3人のお子さんそれぞれで育休を取得し、イクメンとして子育てに向き合う 福石 博史さん にお話を伺いました。

## ◆ 福石 博史さん / 日鉄スラグ製品株式会社 東日本事業所 総務室

現在、奥様と一緒に7歳の長女、5歳の長男、3歳の次女の3人のお子さんの子育てに真っ最中の福石さん。職場では、給与や労務、人事関係の仕事に携わっています。最初のお子さんが生まれたのは2015年。その当時、女性職員は出産になれば産休・育休を取り休んでいましたが、福石さんが勤める東日本事業所内の100名近い男性職員の中で、育休を取得する人は全くいない状態でした。そんな中、福石さんはご自身が前例となり他の人に繋げていければという思いから、職場で初めて男性職員として育休を取ることにしました。

第1子のときは2週間。実はバカンス気分もあったとのことでしたが、実際に取ってみてそんな状況ではないことに気付いたそうです。この最初の育休では仕事の引継ぎもなかなかできず、パソコンを持ち帰って夜に仕事をしながらの状況で、2週間はあっという間に過ぎてしまいました。その後は、第2子のときに1ヵ月間、第3子のときには産後すぐに2週間と生後10ヵ月に2ヵ月間と、段々と期間を伸ばしながら全員のお子さんで育休を取られました。



△お子さんと手作りの薪棚前で

育休中は、第1子は奥様もとても大変で、奥様の育児の時間を確保するために家事の方に回り、家事を覚えていきました。第2子からは、第1子の保育園の送り迎えをしたり、散歩に行ったりなど、少し余裕が出た対応ができたとのこと。仕事も前回の反省を活かし、マニュアルを作って引継ぎをしました。第3子のときには、少しずつ料理にも挑戦しレパートリーを増やしていきました。一日があっという間に終わってしまう日々でしたが、「育休中の時間は、歩いた瞬間であったり、何かを言葉にした瞬間だったり、子どもの様々な初めての瞬間に立ち会えたことが喜びでした。育休を取って良かったです。」と優しい笑顔で語られていました。

福石さんが育休を取られてから、続くように他の男性職員でも育休を取る方が増え、これまで9名の方が取得されました。福石さんも出産関係の手続きに来る男性職員に、先輩職員

として積極的に育休取得の声掛けをしています。最近子どもが生まれたら男性職員も育休を取るという雰囲気、職場内で大分定着してきたと感じているそうです。

現在、奥様もフルタイムで働く中、新・三種の神器である食洗機・ロボット掃除機・洗濯乾燥機をフル活用し、近くに住むご両親の力も借りながら仕事と家庭を両立しています。DIYで自宅にクライミングウォールを作ったり、砂場や筑山も手作りしてしまう器用で凝り性の福石さん。サーフィンやスノーボードなど体を動かす趣味も豊富です。最近5歳の長男と、筑波山の頂上まで二人で登ることができ、一緒に趣味を楽しめるようになったことがとても嬉しかったと、お子さんの日々の成長を喜ばれています。

子育てに関して福石さんは、ご自身をイクメンとは思わないとのこと。「イクメンがあるならイクママがあっという間だと思います。男性である私には、妊娠や出産はできないけれど、それ以外は自分と妻はすべて同じように家事や育児ができると考えています。妻もフルタイムで働いているので、どんなことも、その時できる方がやります。お風呂の時間も、湯船に入れるだけでなく、着替えの準備から保湿までやります。」と福石さん。最初は育児の補助に回ることが多かったけれども、育休を取る中でそれではいけないと思い積極的に育児に関わっていくべきだと考えが変わっていったそうです。奥様とは対等のパートナーとして、同じように子育てに向き合っている姿が見られます。

最後に福石さんからメッセージをいただきました。「男性の育休取得は、社会での認知は少しずつ上がってきているとは思いますが、それでも実際には取りづらい環境であったり、取れても短期間であったりという状況です。子どもの成長はあっという間で、その時間を父親が共有できないことはとてももったいないと感じます。また、育児を奥さんに任せきりにするのではなく、父親も同じように育児に参加するべきだと思います。そういうことが当たり前の社会や仕組みになってほしいです。」

男性で育休を取る最初の一步を切り拓いていった福石さん。芯の通った素敵な男性でした!



# 市役所イクメン職員育休体験談



現在、社会的にも話題の「男性育休」。国は男性の育休取得を促進しており、2025年までに取得率を30%にする目標を掲げています。2020年の男性の育休取得者の割合は12.65%(2019年7.48%)\*でした。少しずつですが男性育休も広がりを見せています。鹿嶋市役所でも育休を取得する男性職員が増え始めている中、2020年に育休を取得した職員の中の2人にインタビューをしました！(\*雇用均等基本調査より)

松本 さん (35)

ご家族：妻・長女  
育休取得期間：産後から1ヶ月  
育休取得時所属：人事課



給前 さん (30)

ご家族：妻・長男  
育休取得期間：産後から1ヶ月  
育休取得時所属：収納課

## 育休を取得したきっかけは何ですか。

松本さん▶妻からも取得してほしいと話があり、自分も取得したいと思ったからです。

給前さん▶先輩の男性職員が育休を取っているのを見て、自分も子どもができれば取ってみたいと思っていました。

## 育休を取得すると話したときの周りの反応はどうでしたか。

松本さん▶早くからお伝えしていたこともあり、思ったよりも受け入れてもらえました。

給前さん▶職場では少し驚かれましたが、奥さんも助かるんじゃないかなと言われました。家でも、妻は最初は少し驚いていましたが、すごく喜んでくれました。

## 育休中の仕事はどうしましたか。

松本さん▶他の担当にお願いしたり、分担を替えてもらったりして対応していただきました。

給前さん▶上司と同僚がカバーしてくれました。

## 育休中の過ごし方を教えてください。

松本さん▶妻が夜中のミルク担当になってくれたので、朝に交代して、日中は妻に寝てもらって、自分がミルクやおむつなどをお世話していました。

給前さん▶生まれたばかりの新生児なので、朝から夜中まで妻と交代で三時間おきにミルクをあげたり、哺乳瓶を消毒したり、合間に必要なものを買出しに出かけたりして、一日が過ぎていきました。

## 育休を取る前に取り組んだことや準備したことはありますか。

松本さん▶保健センターの講座と一緒に参加するなどしました。

給前さん▶特にはないですが、ベビー用品を揃えたり、育児を経験している同世代の親類等に経験談を聞いたりしていました。

## 育休を取る前と取った後の感想を教えてください。

松本さん▶コロナの関係で出産の立ち合いはできず、出産後の入院中も5日間のうち1回(10分)だけしか面会できなかったのが、最初のふれあいができる機会が取れて、とても良かったです。育休前は、子育てなんてできるのか不安でしたが、育休中に様々な経験をしたことで自分の生活になじませることができました。

給前さん▶育休を取る前は、赤ちゃんとお過ごす時間が楽しみでした。実際に育休を取ってみて、我が子との貴重な時間を過ごすことができ嬉しかったのですが、妻も自分もぐっすり寝る時間もなく、初めての育児で気も張りつめていて、心身共に想像していたよりもはるかに育児は大変なんだなと実感しました。

## 男性でこれから育休を取りたいと思っている人に対するメッセージをお願いします。

松本さん▶赤ちゃんが生まれてからの1か月を見られることができるのはとても貴重で、たくさんの感動があります。世間の雰囲気としても、かなり育休を取得しやすくなってきたと思います。ぜひ育休を取るべきだとおすすめます。

給前さん▶思った以上に大変ですが、一生にこの時だけの貴重な時間だと思います。私は、振返ってみて育休をとって良かったと思っています。



# 2022年から男性の育児休業がパワーUP



出産や育児、子育てなどのライフイベントと仕事の両立を力強く支えてくれる育児・介護休業法が令和3年6月に改正され、令和4年4月1日から順次施行されます。これにより、さらに男性が育児休業を取得しやすくなります。その具体的な3つのポイントをご紹介します！



01  
Point

## 産後パパ育休(出生時育児休業)の創設(令和4年10月施行)

育休とは別に取得が可能で、子どもの出生後8週間以内に4週間(28日間)取得できます。

- 原則として休業の2週間前までに申し出ればOK!
- 分割して2回取得できる!
- 休業中に働くことができる!\*

(\*労使協定を締結している場合に限り、労働者が合意した範囲内で就業可能。就業可能日数や時間に上限あり)



02  
Point

## 個別の働きかけと職場全体の環境整備の義務化(令和4年4月施行)

企業に対して以下のことが義務付けられます。

- ①妊娠・出産した女性、配偶者が妊娠・出産した男性に対して、育児休業制度などについて個別に周知することと育休取得の働きかけを行うこと。
- ②育児休業を取得しやすい職場にするために、研修や相談窓口の設置などの環境整備をすること。

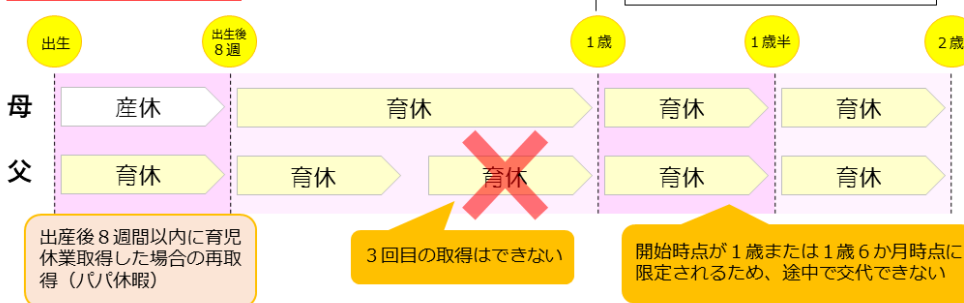


03  
Point

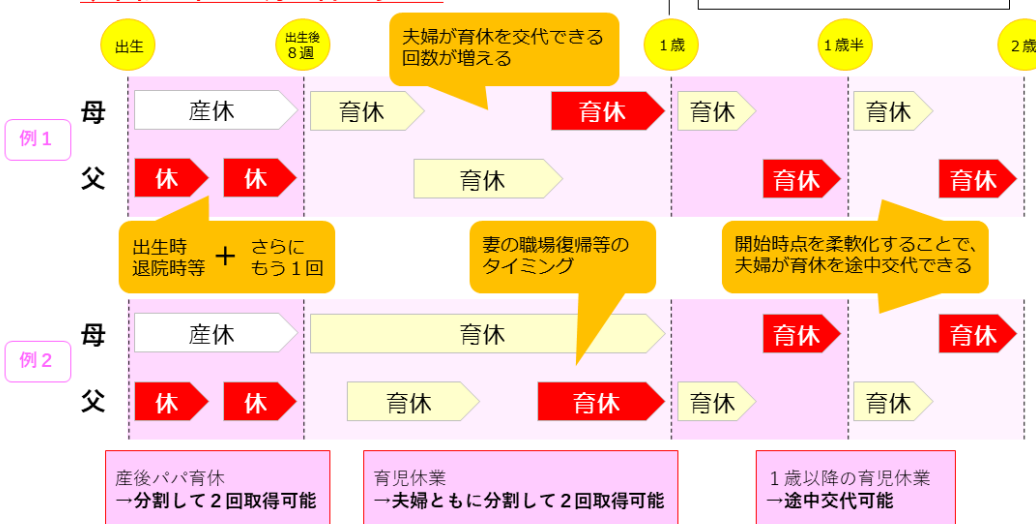
## 育児休業の分割取得(令和4年10月施行)

これまでの育休も改正され、休業を2回に分割して取得することができるようになります。さらに、保育所に入れないなどの場合、1歳以降の育児休業について途中で夫婦交代して取得することが可能となります。

### ◆現行の制度では…



### ◆令和4年10月1日からは…



育児・介護休業法では、育児休業制度のほかにも、短時間勤務制度、残業免除制度、子の看護休暇制度などの両立支援制度も定められています。進化している両立支援制度を正しく理解し、自分らしいワーク・ライフ・バランスを実現できるように、夫婦の働き方に合わせて賢く使っていきましょう！

